

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
プリオン病及び遅発性ウイルス感染に関する調査研究	山田 正仁	神経内科	3,000,000	(補) 厚生労働省 委
石川ハイテク・センシング・クラスター構想: 早期地方診断支援技術の開発・予防型社会システムの構築をめざして	山田 正仁	神経内科	70,218,000	(補) 文部科学省 委
生体分子及び有機化合物の $\alpha$ -シヌクレイン凝集に及ぼす影響の解析	小野 賢二郎	神経内科	1,800,000	(補) 文部科学省 委
骨髄細胞のTREM2陽性マイクログリア細胞への分化誘導	高橋 和也	神経内科	2,500,000	(補) 文部科学省 委
パニック障害の治療法の最適化と治療ガイドラインの策定	長澤 達也	神経科精神科	900,000	(補) 厚生労働省 委
ヘムオキシゲナーゼ1欠損と全身性慢性炎症に対する防御機構の破綻	小泉 晶一	小児科	3,400,000	(補) 日本学術振興会 委
三次元モデルを用いた微少残存白血病細胞の動態解析に基づく再発予知的治療戦略の創成	犀川 太	小児科	1,000,000	(補) 日本学術振興会 委
自閉症に関連するX染色体上の刷り込み遺伝子の同定	新井田 要	小児科	1,400,000	(補) 文部科学省 委
原発性免疫不全症における原因遺伝子の復帰に関する研究	和田 泰三	小児科	2,000,000	(補) 日本学術振興会 委
造血細胞系統別のAML1/ETO陽性細胞の解析と白血病化に関わる二次的遺伝子異常の検索	前馬 秀昭	小児科	500,000	(補) 公益信託 日本白血病研究基金 委
血管新生阻害剤の肝癌多段階発癌への影響のインビボ解析: 画像診断と塞栓療法への応用	松井 修	放射線科	1,800,000	(補) 日本学術振興会 委
骨転移に対するラジオ波凝固療法についての研究	松井 修	放射線科	1,000,000	(補) 厚生労働省 委
血流動態に応じた難治がん治療法の開発に関する研究	松井 修	放射線科	1,000,000	(補) 厚生労働省 委
難治がんの総合的な対策に関する研究	松井 修	放射線科	1,000,000	(補) 国立がんセンター 委
がん治療におけるIVRの技術向上と標準化に関する研究	松井 修	放射線科	1,000,000	(補) 国立がんセンター 委
生体顕微鏡を用いたウサギ肝内微少血行動態観察に基づく肝動脈塞栓術の至適条件の検討	小林 聡	放射線科	1,100,000	(補) 日本学術振興会 委
細胞移植における細胞の経血管性導入に関する実験的研究: 樹状細胞の肝動注による検討	香田 渉	放射線科	2,500,000	(補) 文部科学省 委
DNA免疫法による抗CTGF抗体のサイトカイン誘導性皮膚線維化マウスモデルの抑制	竹原 和彦	皮膚科	2,200,000	(補) 日本学術振興会 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	竹原 和彦	皮膚科	6,000,000	(補) 厚生労働省 委
B細胞シグナル伝達を標的とした自己免疫疾患治療法の開発	藤本 学	皮膚科	1,800,000	(補) 日本学術振興会 委
B細胞のシグナル伝達調節による皮膚疾患・免疫疾患の制御	藤本 学	皮膚科	500,000	(補) (財)日本リディアオリ リー協会 委
B細胞除去療法による強皮症モデルマウスの治療	長谷川 稔	皮膚科	1,900,000	(補) 日本学術振興会 委
強皮症における病因解明と根治的治療法の開発	長谷川 稔	皮膚科	1,000,000	(補) 厚生労働省 委
全身強皮症における線維化関連遺伝子のDNAマイクロアレイを用いた検討	白崎 文朗	皮膚科	600,000	(補) 文部科学省 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
全身性強皮症の自己免疫におけるレプチンの役割について	西島 千博	皮膚科	700,000	補 委 文部科学省
悪性黒色腫におけるBRAF変異遺伝子の機能解析と臨床応用への検討	藤本 晃英	皮膚科	1,400,000	補 委 文部科学省
全身性強皮症のImatinibの抗線維化効果についての検討	石田 濟	皮膚科	2,300,000	補 委 文部科学省
マウスを用いた抗CD20抗体療法におけるFcレセプターの役割の解明	濱口 儒人	皮膚科	1,900,000	補 委 文部科学省
乳房外パジェット病の転移浸潤におけるTWISTの役割	石井 貴之	皮膚科	1,320,000	補 委 日本学術振興会
全身性強皮症皮膚線維化モデルを用いたMCP-1、フラクタルカインと受容体の役割	荒井 美奈子	皮膚科	1,320,000	補 委 日本学術振興会
BAPFアンタゴニストによる強皮症モデルマウスの治療	松下 貴史	皮膚科	2,900,000	補 委 文部科学省
Biodegradable DC patchの開発-開心術後afに対する除細動-	渡邊 剛	心臓血管外科	2,700,000	補 委 文部科学省
術後冠動脈造影に基づいたバイパスグラフトの選択と使用方法に関するガイドライン作成のための日米多施設共同研究	渡邊 剛	心臓血管外科	600,000	補 委 国立循環器病センター
ステントグラフト留置後の瘤径変化に影響を与えるリスクファクターの解明	大竹 裕志	心臓血管外科	1,000,000	補 委 日本学術振興会
手術支援ロボットを用いた大血管自動吻合システムの基礎的研究	木村 圭一	心臓血管外科	2,000,000	補 委 文部科学省
胃癌腹膜転移における診断法の開発とアンギオテンシン系を介した線維化機構とその制御	伏田 幸夫	胃腸外科	1,100,000	補 委 日本学術振興会
G蛋白質共役型受容体を介した膵癌細胞の増殖・浸潤促進、抗アポトーシス機構の解明	太田 哲生	肝胆膵・移植外科	700,000	補 委 日本学術振興会
外科手術用ロボット(da Vinci)を用いた新たな胃内手術方法の開発	平能 康充	内分泌・総合外科	1,900,000	補 委 文部科学省
脊髄損傷における脊髄横断モデルと脊髄圧挫モデルの病態比較	富田 勝郎	整形外科	1,500,000	補 委 日本学術振興会
高悪性度軟部腫瘍に対する標準的治療法の確立に関する研究	土屋 弘行	整形外科	900,000	補 委 厚生労働省
抗癌剤およびカフェイン封入リポソームを用いた骨肉腫の治療とテーラーメイド化学療法	土屋 弘行	整形外科	700,000	補 委 日本学術振興会
発光ダイオード光の生体活性効果の検討	池田 和夫	整形外科	2,500,000	補 委 日本学術振興会
関節リウマチの骨質形成に関する分子機構解明-滑膜細胞増殖と浸潤における転写因子PEA3の関与-	加畑 多文	整形外科	1,100,000	補 委 文部科学省
蛍光蛋白同時発現細胞を用いた生体内での経時的細胞動態解析	山本 憲男	整形外科	500,000	補 委 文部科学省
マウスを用いた癌血行性転移の、遺伝子発現及び抗癌剤作用のリアルタイム画像解析	山内 健輔	整形外科	1,340,000	補 委 日本学術振興会
骨粗鬆性脊椎骨折の力学解析-椎体骨折はどのようにして生じるのか-	村上 英樹	脊椎・脊髄外科	500,000	補 委 文部科学省
低侵襲型バイオ診断チップシステムの開発	並木 幹夫	泌尿器科	500,000	補 委 独立行政法人 科学技術振興機構
泌尿器悪性腫瘍に対するバイオ診断チップを用いたセルフスクリーニングシステム	並木 幹夫	泌尿器科	1,200,000	補 委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
精細管内微小環境モジュレーションによる抗癌化学療法後精子形成回復救済療法の確立	高 榮哲	泌尿器科	700,000	補委 日本学術振興会
ホルモン不応性前立腺癌におけるNFkB活性化の意義とその経路を標的とした治療戦略	小中 弘之	泌尿器科	2,000,000	補委 日本学術振興会
COX-2の前立腺癌における機能と治療戦略	藤田 博	泌尿器科	2,200,000	補委 文部科学省
V-src導入腎上皮細胞の肺転移モデルを利用した転移性腎癌に対する治療戦略	角野 佳史	泌尿器科	1,200,000	補委 文部科学省
脳老化に伴う過活動膀胱の機序の解明と予防・治療戦略の確立	四柳 智嗣	泌尿器科	1,100,000	補委 文部科学省
正常眼圧緑内障に対する早期発見のスクリーニングシステム構築と最適化された診療指針の確立に関する研究	杉山 和久	眼科	2,800,000	補委 厚生労働省
毛様体上皮細胞の浸透圧感受性Kチャンネルの同定とその房水産生調節機構の研究	高比良 雅之	眼科	700,000	補委 日本学術振興会
日本人に最適化した緑内障画像自動診断システムの確立	大久保 真司	眼科	3,200,000	補委 日本学術振興会
神経保護評価に向けた網膜神経節細胞の細胞体と軸索の生体内定量的観察法の確立	東出 朋巳	眼科	1,600,000	補委 日本学術振興会
走査型レーザー検眼鏡によるラット網膜神経節細胞の生体内定量的評価法の確立	東出 朋巳	眼科	1,000,000	補委 公益信託 須田記念緑内障治療研究奨励基金
ラタノプロストの眼圧下降作用を規定する遺伝子多型の解析ー緑内障治療薬のテーラーメイド医療を目指してー	桜井 真由美	眼科	1,100,000	補委 日本学術振興会
上咽頭がんにおけるマトリックスメタロプロテアーゼ1プロモーター遺伝子型と転移能	古川 仞	耳鼻咽喉科	1,400,000	補委 日本学術振興会
光トポグラフィーによる嗅覚中枢の同定と嗅覚検査への応用	三輪 高喜	耳鼻咽喉科	2,100,000	補委 日本学術振興会
EBウイルス活性化による遺伝子発現変化と上咽頭組織がん化に関する研究	吉崎 智一	耳鼻咽喉科	2,000,000	補委 日本学術振興会
核酸アナログ系抗ウイルス剤によるウイルス関連腫瘍治療に関する基礎研究	吉崎 智一	耳鼻咽喉科	1,400,000	補委 文部科学省
頭頸部がんに対する化学放射線療法が創傷治癒に与える影響の研究	達富 真司	耳鼻咽喉科	700,000	補委 日本学術振興会
EBウイルス潜在膜蛋白-1による線維芽細胞増殖因子-2分泌促進機構に関する研究	脇坂 尚宏	耳鼻咽喉科	1,200,000	補委 日本学術振興会
子宮内膜癌の診断治療に有効な分子標的の探索	井上 正樹	産科婦人科	4,500,000	補委 日本学術振興会
WT1癌抗原ペプチドを用いた癌の免疫療法の開発	井上 正樹	産科婦人科	800,000	補委 厚生労働省
テロメース特異的癌融解ウイルスによる婦人科腫瘍の遺伝子治療の開発	京 哲	産科婦人科	5,000,000	補委 日本学術振興会
RNAi技術を駆使したテロメース制御と婦人科癌の遺伝子治療への応用	京 哲	産科婦人科	1,000,000	補委 文部科学省
増殖型癌融解ウイルスの卵巣癌治療への応用	高倉 正博	産科婦人科	1,800,000	補委 文部科学省
テロメースプロモーターを用いた腫瘍特異的増殖ウイルスによる癌治療の確立	高倉 正博	産科婦人科	500,000	補委 特定非営利活動法人 日本婦人科腫瘍学会
Tissue-FISHによる新しいテロメア長測定法の開発と婦人癌早期診断への応用	毎田 佳子	産科婦人科	1,000,000	補委 文部科学省

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
がんの代替療法の科学的検証と臨床応用に関する研究	大野 智	産科婦人科	1,000,000	(補) 国立がんセンター 委
生体内分解性薬剤徐放ゲルによる子宮内膜症治療DDSの臨床応用	野村 一人	産科婦人科	1,000,000	(補) 財団法人 三谷研究開発支援財団 委
運動誘発電位に含まれる高周波振動の脊髄虚血モニタリングへの応用に関する研究	山本 健	麻酔科蘇生科	1,000,000	(補) 日本学術振興会 委
脊髄の虚血再灌流障害に対するポストコンディショニングの効果	坪川 恒久	麻酔科蘇生科	2,100,000	(補) 日本学術振興会 委
膜蛋白のプロテオーム解析による神経膠腫浸潤関連分子の同定と機能解析	濱田潤一郎	脳神経外科	900,000	(補) 文部科学省 委
顔面神経細胞の逆行性変性に関する研究	東 良	脳神経外科	1,700,000	(補) 文部科学省 委
虚血後心筋リモデリングにおけるプログラム細胞死、アポトーシスの関与とその画像化	瀧 淳一	核医学診療科	1,000,000	(補) 日本学術振興会 委
高齢者における心機能の特殊性解析と機能的標準化	中嶋 憲一	核医学診療科	500,000	(補) 日本学術振興会 委
癌細胞膜アビジン発現とスカベンジャー受容体内在化による特異的普遍的内照射法の開発	絹谷 清剛	核医学診療科	1,100,000	(補) 日本学術振興会 委
口腔扁平上皮癌の浸潤増殖動態に関する実験的研究-特に浸潤様式からみた浸潤機序の解析を中心に-	山本 悦秀	歯科口腔外科	5,100,000	(補) 日本学術振興会 委
顎関節症進行のメカニズムに関する研究	高塚 茂行	歯科口腔外科	1,500,000	(補) 日本学術振興会 委
口腔扁平上皮癌における悪性化の分子機構-siRNAによる機能解析と治療法の開発-	能崎 晋一	歯科口腔外科	2,600,000	(補) 日本学術振興会 委
抗癌剤および血管新生阻害剤による口腔扁平上皮癌の浸潤・転移抑制効果	川尻 秀一	歯科口腔外科	2,000,000	(補) 日本学術振興会 委
口腔化膿性感染症原因菌のβ-ラクタマーゼ産生遺伝子の検出	栗山 智有	歯科口腔外科	1,200,000	(補) 文部科学省 委
顎関節症力解析を用いた手術シミュレーションの臨床応用	上木 耕一郎	歯科口腔外科	1,300,000	(補) 文部科学省 委
薬物誘発性QT延長症候群の発症を調節するKCR1の役割	林 研至	検査部	5,000,000	(補) 日本心臓財団 委
線維芽細胞増殖因子溶出型ハイドロゲル化ステントグラフト開発に関する実験的研究	眞田 順一郎	放射線部	2,700,000	(補) 日本学術振興会 委
デコンディション症例における体力・体組成・栄養状態の変化と運動療法の意義	八幡 徹太郎	リハビリテーション部	400,000	(補) 日本学術振興会 委
全身性強皮症患者の表情筋を鍛え生活を豊にする研究	麦井 直樹	リハビリテーション部	550,000	(補) 日本学術振興会 委
難治性骨折の骨癒合促進に関する研究	出口 清喜	リハビリテーション部	710,000	(補) 日本学術振興会 委
輸血用血液および細胞療法の安全性に関する研究	塩原 信太郎	輸血部	2,000,000	(補) 厚生労働省 委
子宮内膜癌におけるエストロゲン合成酵素の発現・制御の解析	可西 直之	周産母子センター	1,300,000	(補) 文部科学省 委
PEEPの短時間負荷により誘導される熱ショック蛋白を利用した敗血症の制御	稲葉 英夫	救急部	1,400,000	(補) 日本学術振興会 委
血液凝固因子製剤の文献的考察等に関する研究	朝倉 英策	高密度無菌治療部	500,000	(補) 血液製剤調査機構 委

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
開発したサイトカイン吸着カラムを利用した敗血症性ショックの制御	谷口 巧	集中治療部	1,700,000	補 委 日本学術振興会
自己免疫性膵炎およびIgG4関連硬化性胆管炎の病因・病態に関する研究	全 陽	病理部	1,300,000	補 委 文部科学省
骨髄由来細胞を介した新規の腎線維化機序の解析	和田 隆志	血液浄化療法部	1,800,000	補 委 日本学術振興会
糖尿病性臓器合併症の進展にはたす骨髄由来間葉系細胞の意義	和田 隆志	血液浄化療法部	2,000,000	補 委 武田科学振興財団
ケモカインMCP-1が誘導する肝癌自殺遺伝子治療の再発予防効果の検討	土山 智也	がん高度先進治療センター	1,000,000	補 委 文部科学省
シスプラチンによる腎機能障害に対する腎保護作用に関する研究	西上 潤	薬剤部	680,000	補 委 日本学術振興会

計 148

- (注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

## 2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Biochem Biophys Res Commun (2006.7)	Negative regulation of endothelial morphogenesis and angiogenesis by S1P(2) receptor	Inoki I	消化器内科
Blood (2006.6)	Foxp3+CD4+CD25+ T cells control virus-specific memory T cells in chimpanzees that recovered from	Manigold T	消化器内科
Cancer Gene Ther (2006.4)	Monocyte chemoattractant protein-1 gene delivery enhances antitumor effects of herpes simplex virus thymidine kinase/ganciclovir system in a model of colon cancer	Kagaya T	消化器内科
Cancer Science (2006.10)	Molecular functions and biological roles of hepatitis B virus x protein	Tang H	消化器内科
Clin Exp Immunol (2006.7)	Transgenic mice aberrantly expressing pyruvate dehydrogenase complex E2 component on biliary epithelial cells do not show primary biliary cirrhosis	Inamura K	消化器内科
Clin Exp Immunol (2007.2)	Combined therapy of transcatheter hepatic arterial embolization with intratumoral dendritic cell infusion for hepatocellular carcinoma: clinical safety	Nakamoto Y	消化器内科
Hepatology Res (2006.11)	Virological effects and safety of combined double-filtration plasmapheresis (DFPP) and interferon therapy in patients with chronic hepatitis C: A preliminary study	Yamashita T	消化器内科
Hepatology (2006.6)	Cytotoxic T cell responses to human telomerase reverse transcriptase in patients with hepatocellular carcinoma	Mizukoshi E	消化器内科
Hepatology (2006.11)	Different signaling pathways in the livers of patients with chronic hepatitis B or chronic hepatitis C	Honda M	消化器内科
Int J Cancer (2006.4)	Essential contribution of a chemokine, CCL3, and its receptor, CCRL1, to hepatocellular carcinoma	Yang X	消化器内科
J Infect Dis (2007.1)	Expression profiling of peripheral-blood mononuclear cells from patients with chronic hepatitis C undergoing interferon therapy	Tateno M	消化器内科
J Virol (2006.4)	Effect of hepatitis C virus (HCV) NS5B-nucleolin interaction on HCV replication with HCV subgenomic replicon	Shimakami T	消化器内科
Biochem Biophys Res Commun (2006.8)	Profile of rhythmic gene expression in the livers of obese diabetic KK-A(y) mice	Ando H	内分泌・代謝内科
Chronobiol Int (2006.6)	High-fat feeding exerts minimal effects on rhythmic mRNA expression of clock genes in mouse peripheral	Yanagihara H	内分泌・代謝内科
Diabetes Res Clin Pract (2007.3)	Factors associated with improvement of fasting plasma glucose level by mealtime dosing of a rapid-acting insulin analog in type 2 diabetes	Takamura T	内分泌・代謝内科
Diabetologia (2007.1)	Comment on: Nathan DM, Buse JB, Davidson MB et al. (2006) Management of hyperglycaemia in type 2 diabetes: a consensus algorithm for the initiation and adjustment of therapy. A consensus statement from the American Diabetes Association and the European Association for the Study of Diabetes. Diabetologia 49:	Takamura T	内分泌・代謝内科
Diabetologia (2007.2)	Genes involved in oxidative phosphorylation are coordinately upregulated with fasting hyperglycaemia in livers of patients with type 2 diabetes	Misu H	内分泌・代謝内科
DITN (2006.7)	チーム医療 —患者さんのために、そしてスタッフ自身のために—	篁 俊成	内分泌・代謝内科
Endocrine J. 54:95-101, (2007)	Medical Treatment of Benign Insulinoma Using Octreotide LAR: Case Report	M. Usukura	内分泌・代謝内科
Gastroenterology (2007.1)	Insulin resistance accelerates a dietary rat model of nonalcoholic steatohepatitis	Ota T	内分泌・代謝内科
Horm Metab Res 38: 130-3, (2006)	Effects of raloxifene on adipocytokines in Japanese osteoporotic postmenopausal women with and without type 2 diabetes.	Y. Murase	内分泌・代謝内科
Hypertens Res.29: 9-14, (2006)	Pathophysiological roles of adrenal renin-angiotensin system in patients with primary aldosteronism	N. Oda	内分泌・代謝内科
J Diabetes Complications (2006.11)	Erythrocyte sorbitol level as a predictor of the efficacy of epalrestat treatment for diabetic peripheral polyneuropathy	Ando H	内分泌・代謝内科
J Lipid Res (2007.3)	Effects of lipoprotein lipase and statins on cholesterol uptake into heart and skeletal muscle	Yokoyama M	内分泌・代謝内科
Kidney Int (2006.5)	Indoxyl sulfate stimulates proliferation of rat vascular smooth muscle cells	Yamamoto H	内分泌・代謝内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Metabolism (2006.11)	Tumor necrosis factor- $\alpha$ -induced production of plasminogen activator inhibitor 1 and its regulation by pioglitazone and cerivastatin in a nonmalignant human hepatocyte cell line	Takeshita Y	内分泌・代謝内科
Metabolism (2007.1)	Association of the C825T polymorphism of the G-protein beta3 subunit gene with hypertension, obesity, hyperlipidemia, insulin resistance, diabetes, diabetic complications, and diabetic therapies among Japanese	Hayakawa T	内分泌・代謝内科
N Engl J Med (2007.3)	Pioglitazone in nonalcoholic steatohepatitis	Ota T	内分泌・代謝内科
Nephrol Dial Transplant (2007.3)	Defect in parathyroid-hormone-induced luminal calcium absorption in connecting tubules of Klotho mice メタボリックシンドロームと糖尿病	Tsuruoka S 櫻井 勝	内分泌・代謝内科
Atherosclerosis (2007.3)	Decreased post-prandial triglyceride response and diminished remnant lipoprotein formation in cholesteryl ester transfer protein (CETP) deficiency.	稲津明広	循環器内科
Circulation (2006.8)	Angiotensin II induces premature senescence of vascular smooth muscle cells and accelerates the development of atherosclerosis via a p21-dependent pathway	Kunieda T	循環器内科
Clin Sci (Lond) (2006.11)	Cholesteryl ester transfer protein (CETP) promoter -1337 C>T polymorphism protects against coronary atherosclerosis in Japanese patients with heterozygous familial hypercholesterolemia.	高田睦子	循環器内科
J arrhythmia (2006.4)	The Rho/Rho-kinase Systems are Involved in Rapid Pacing-induced Changes of Atrial Refractory Period in a Canine Model	Furusho H	循環器内科
J Cardiovasc Electrophysiol (2006.8)	What are arrhythmogenic substrates in diabetic rat atria?	Kato T	循環器内科
Progress in Medicine (2006.9)	心室性不整脈に対するamiodaroneとICD併用の現状	古荘浩司	循環器内科
Am J Nephrol (2006.9)	Reduction in Chronic Allograft Nephropathy by Inhibition of p38 Mitogen-Activated Protein Kinase	Wada T	腎臓内科
Am J Pathol (2006.7)	Role for macrophage metalloelastase in glomerular basement membrane damage associated with alport syndrome	Rao VH	腎臓内科
Am J Pathol (2006.10)	Interferon- $\gamma$ Plays Protective Roles in Sodium Arsenite-Induced Renal Injury by Up-Regulating Intrarenal Multidrug Resistance-Associated Protein 1	Kimura A	腎臓内科
Am J Pathol (2007.2)	Development of immunoglobulin A nephropathy-like disease in beta-1,4-galactosyltransferase-I-deficient	Nishie T	腎臓内科
Arthritis Rheum (2007.2)	Increased expression of TRAIL receptor 3 on eosinophils in Churg-Strauss syndrome	Mitsuyama H	腎臓内科
Kidney Int (2006.6)	Blockade of VEGF accelerates proteinuria, via decrease in nephrin expression in rat crescentic	Hara A	腎臓内科
Nephrol Dial Transplant (2006.10)	TAK-603, an anti-inflammatory compound, reduces crescentic glomerulonephritis and preserves renal function in WKY rats	Yamahana J	腎臓内科
Proc Natl Acad Sci U S A (2006.9)	Secondary lymphoid tissue chemokine (SLC/CCL21)/CCR7 signaling regulates fibrocytes in renal fibrosis	Sakai N	腎臓内科
腎と骨代謝 (2006.4)	塩酸セベラマーによる低PTHと骨形成マーカー改善効果—当院維持透析患者における検討—	中屋来哉	腎臓内科
Blood 109(6):2514-2520 (2007.3)	Specific antibodies to moesin, a membrane-cytoskeleton linker protein, are frequently detected in patients with acquired aplastic anemia.	高松博幸	血液内科
Bone Marrow Transplant. 38(11):729-732.	Reduced-intensity unrelated cord blood transplantation for treatment of metastatic renal cell carcinoma: first evidence of cord-blood-versus-solid-tumor effect.	高見昭良	血液内科
Crit Care Med 34:2646-2650 (2006.10)	No interplay between the pathways mediating coagulation and inflammation in tissue factor-induced DIC in rats.	御館靖雄	血液内科
Eur M Haematol. 78(2):157-160 (2007.2)	Graft rejection and hyperacute Graft-versus-host disease in stem cell transplantation from non-inherited maternal-antigen-complementary HLA-mismatched siblings.	奥村廣和	血液内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Exp Hemato 135:13-20 (2006.9)	Roles of DRB1 *1501 and DRB1*1502 in the pathogenesis of aplastic anemia.	杉盛千春	血液内科
Int J Hematol. 84(2):170-173 (2006.8)	Successful treatment of minimal residual disease-positive Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia with imatinib followed by reduced-intensity unrelated cord blood transplantation after allogeneic peripheral blood stem cell transplant	高見昭良	血液内科
Int J Hematol. 84:118-122 (2006.8)	Clinical significance of a small population of paroxysmal nocturnal hemoglobinuria-type cells in the management of bone marrow failure.	中尾眞二	血液内科
Transplantation Proceedings. 39:237-239	Safety and Efficacy of Foscarnet for Preemptive Therapy Against Cytomegalovirus Reactivation After Unrelated Cord Blood Transplantation.	高見昭良	血液内科
Allergy & Asthma Proceedings (2006)	Longitudinal changes of pulmonary function and bronchial responsiveness in cough variant asthma treated with bronchodilators alone.	野畑浩一	呼吸器内科
Anticancer Res. 26(5B): 3723-8, (2006)	A phase II study of combination chemotherapy with docetaxel and carboplatin for patients with advanced or metastatic non-small cell lung cancer.	笠原寿郎	呼吸器内科
Anticancer Res. 26(2B):1495-1499 (2006.4)	Randomized phase II trial of OK-432 in patients with malignant pleural effusion due to non-small cell lung cancer.	笠原寿郎	呼吸器内科
British Journal of Cancer 95:1390-1395 (2006.10)	EGFR mutation status in tumour-derived DNA from pleural effusion fluid is a practical basis for predicting the response to gefitinib.	木村英晴	呼吸器内科
Cancer Science 97(7):642-648 (2006.7)	High sensitivity detection of epidermal growth factor receptor mutations in the pleural effusion of non-small cell lung cancer patients.	木村英晴	呼吸器内科
Clin Cancer Res. 12(13):3915-3921 (2006.7)	Detection of Epidermal Growth Factor Receptor Mutations in Serum as a Predictor of the Response to Gefitinib in Patients with Non-Small-Cell Lung Cancer.	木村英晴	呼吸器内科
Clin Exp Allergy 36 (10):1294-1302 (2006.10)	Role of intercellular adhesion molecule-1 in a murine model of toluene diisocyanate-induced asthma.	古荘志保	呼吸器内科
Clinical and Experimental Medicine 6(2):79-83 (2006.6)	Ambroxol for the prevention of acute upper respiratory disease: a long-term single centre trial.	野畑浩一	呼吸器内科
Cough 3(2):1-7 (2007.1)	Prostaglandin 12 enhances cough reflex sensitivity to capsaicin in the asthmatic airway.	石浦嘉久	呼吸器内科
Eur J Cancer. 42(18):3157-60 (2006.12)	Gastrointestinal metastases from primary lung cancer.	良元章浩	呼吸器内科
Intern Med 45(6):359-362 (2006.4)	Pulmonary sarcoidosis with usual interstitial pneumonia distributed predominantly in the lower lung fields.	野畑浩一	呼吸器内科
International Archives of Allergy and Immunology 140(4):327-333 (2006.6)	Eosinophilic inflammation and remodeling of lower airway, bronchial responsiveness and cough reflex sensitivity in non-asthmatic subjects with nasal allergy.	原 丈介	呼吸器内科
J Asthma 43(6):427-428 (2006.8)	Bronchial asthma showing reduction in FEV1 after inhalation of Qvar.	野畑浩一	呼吸器内科
Clin Exp Med 6(2):79-83 (2006.7)	Ambroxol for the prevention of acute upper respiratory disease.	野畑浩一	呼吸器内科
Pulmonary Pharmacology and Therapeutics e-pub- (2006.5)	Selective inhibitors for phosphodiesterase 3 and 4 in antigen-induced increase of cough reflex sensitivity in guinea pigs.	藤村政樹	呼吸器内科
癌と化学療法 34(2):217-219 (2007.2)	四次治療としてのCisplatin+Gemcitabine 併用化学療法により初めて奏効を得た進行肺大細胞癌の一例	丹保裕一	呼吸器内科